

企業立地の推進

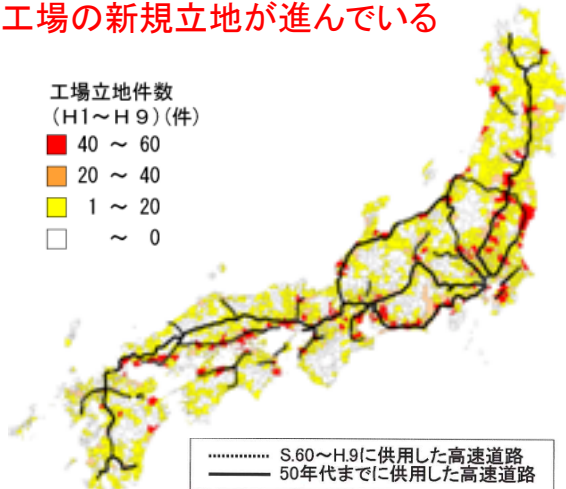
企業立地や産業活動の活性化など、**地方の将来のチャンス**を確保するためには、**高速道路ネットワークの整備が不可欠**

○高速道路整備と工業立地の関係

・新しく開通した高速道路沿道を中心に
工場の新規立地が進んでいる

工場立地件数
(H1~H9)(件)

- 40 ~ 60
- 20 ~ 40
- 1 ~ 20
- ~ 0

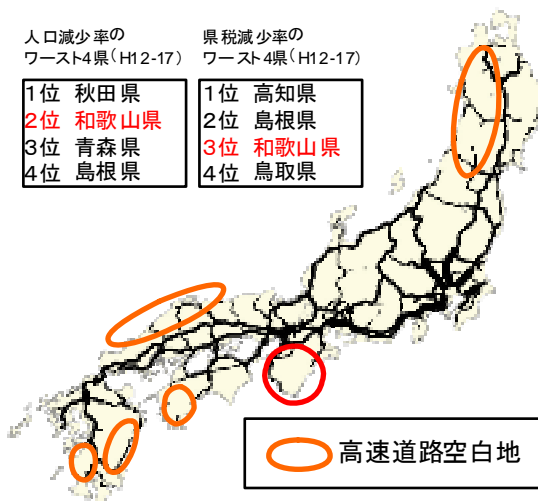


○高速道路の空白地

人口減少率の
ワースト4県(H12-17)

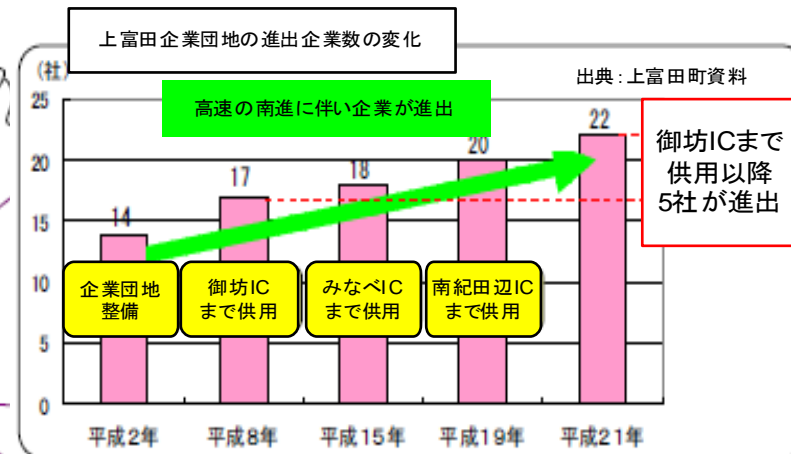
県税減少率の
ワースト4県(H12-17)

1位 秋田県	1位 高知県
2位 和歌山県	2位 島根県
3位 青森県	3位 和歌山県
4位 島根県	4位 鳥取県



○和歌山県における企業立地状況

・上富田町では高速道路の延伸に伴い、**進出企業数が増加**。



高速道路の延伸と企業進出の実績



広域観光の実現

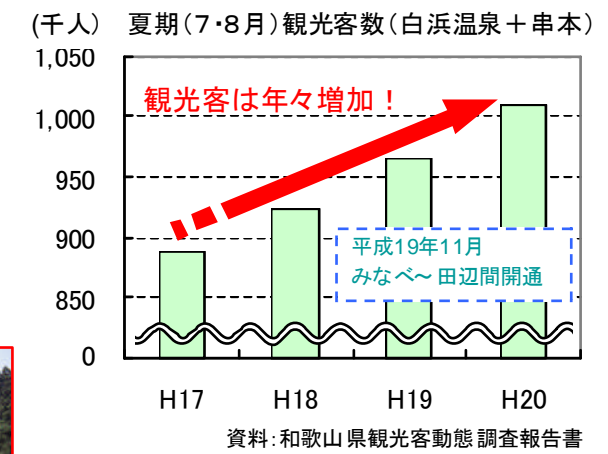
世界遺産や豊かな自然など県内各地の豊富な観光資源を最大限活用し、国内や海外との観光交流の促進には、**高速道路ネットワークによる広域観光ルートの形成が必要**

○高速道路ネットワークによる広域観光ルートの形成

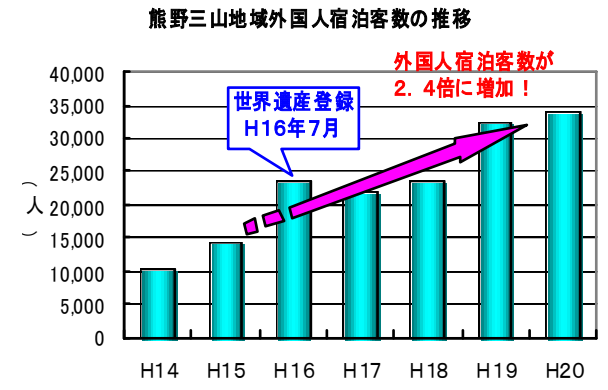
- ・世界遺産『紀伊山地の霊場と参詣道』をはじめとする歴史文化資源、山地・海岸・温泉など豊かな自然資源を活かした広域観光ルートの形成が必要。
- ・国際的な観光交流の促進には、海外との玄関口となる関西国際空港、中部国際空港、南紀白浜空港との短時間で快適な移動を支える高速道路ネットワークの充実が必要。

○和歌山県における観光客増加の実例

・紀勢線の延伸により、白浜温泉と串本では夏期観光客が年々増加



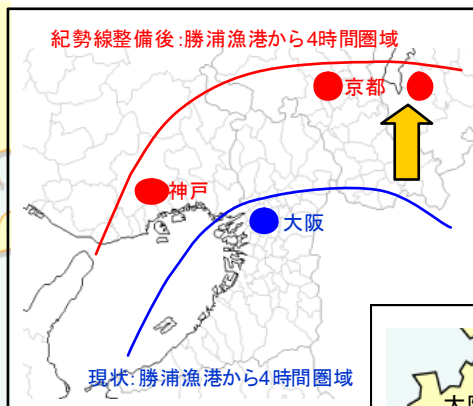
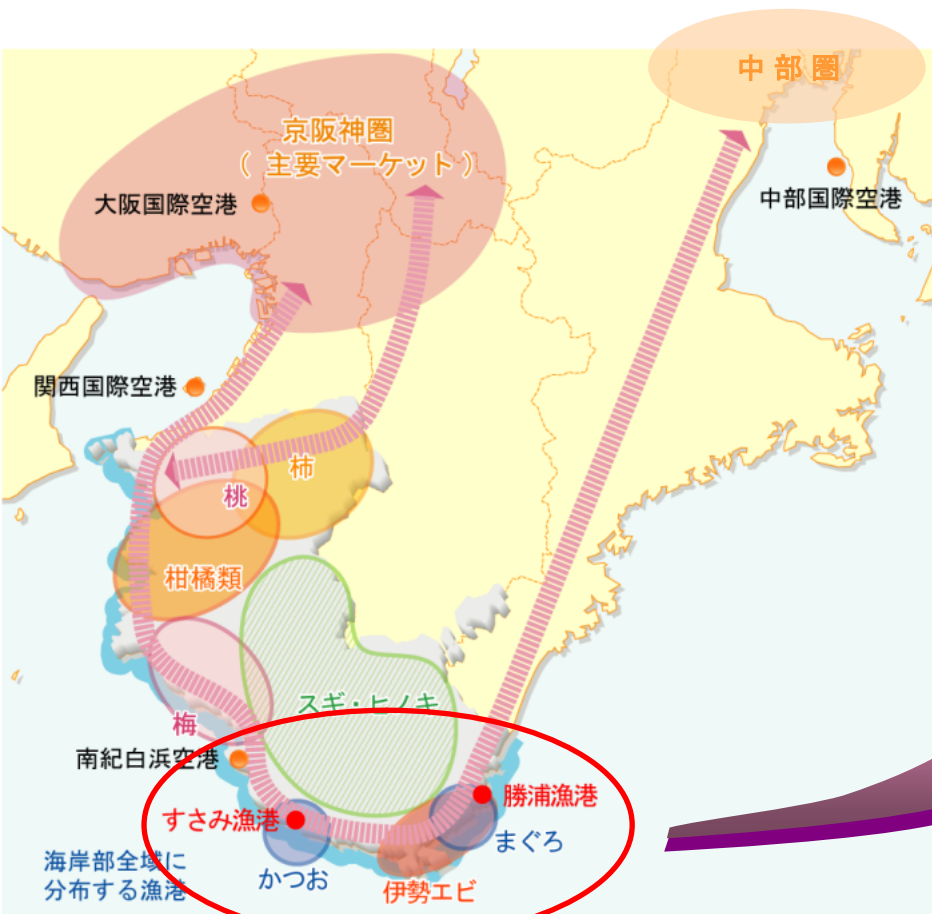
・世界遺産登録後、熊野三山地域の外国人宿泊客数が大幅に増加



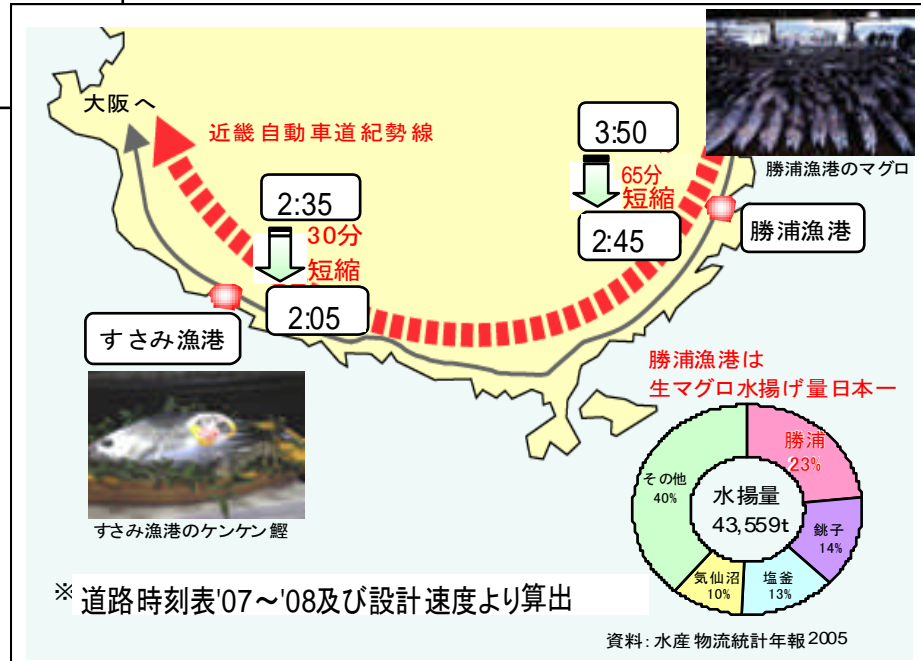
地域の産業活性化

地方における農林水産業の競争力を強化し、地域産業全体を活性化させるには、**大都市圏市場への輸送時間の短縮による販路拡大**が必要

- 大都市圏から離れ、高速道路の整備が遅れた地方は、競争のスタートラインにすら立てていない
- 地域産業の競争力強化には、大都市圏市場との時間距離の短縮が必要
- 水揚げ日本一の生マグロなど紀南の新鮮な海産物をいち早く関西や中部、東京築地市場へ



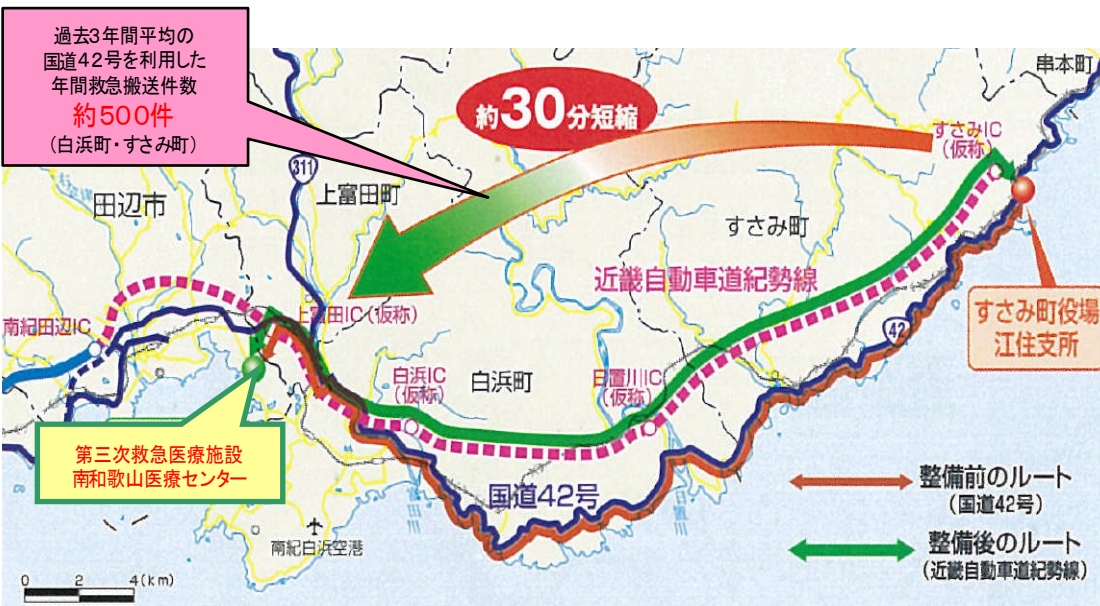
高速道路の延伸により関西、中部市場への輸送時間を短縮
朝水揚げされたマグロやカツオがその日のうちに食卓へ



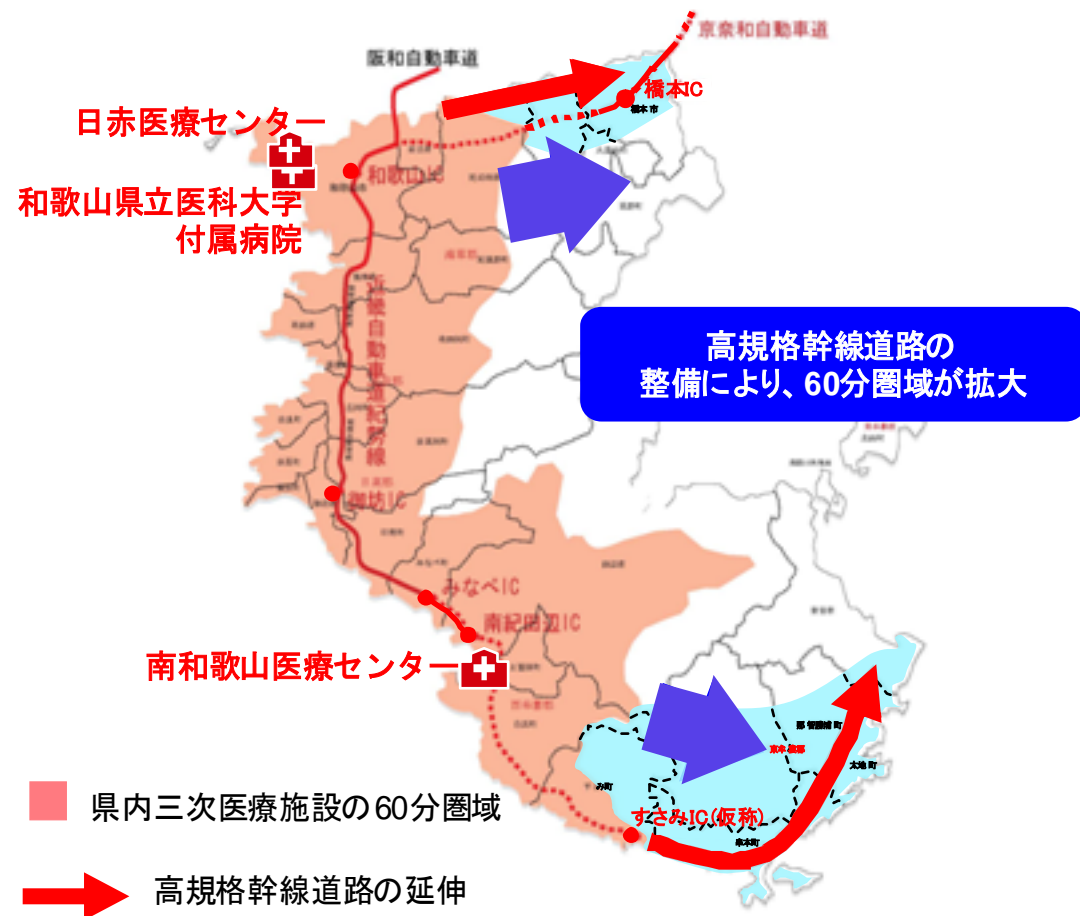
命の格差解消

地方では第三次医療施設が著しく不足している現状において、一分一秒を争う救命救急活動には、**高速道路ネットワークの整備による救急搬送時間の短縮が急務**

○国道42号の線形不良区間の解消により、
第三次救急医療施設へのスムーズな搬送・時間短縮が可能



○高規格幹線道路が繋がると、60分搬送可能圏域が拡大

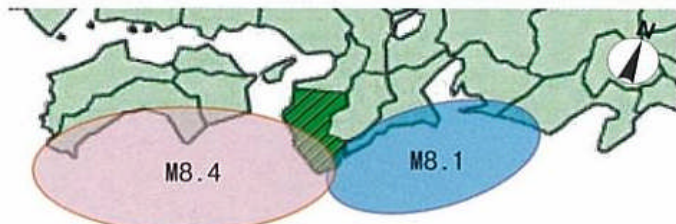


災害から国民を守る

東南海・南海地震による津波被害など、大規模災害に備えるためには、**高速道路ネットワークの整備による緊急輸送機能の強化**が喫緊の課題

○「東南海・南海地震」、風水害時の**国道42号の代替路、緊急輸送路として機能**

今世紀前半にも南海地震・東南海地震発生!!



南海地震

今後30年以内の発生確率50～60%

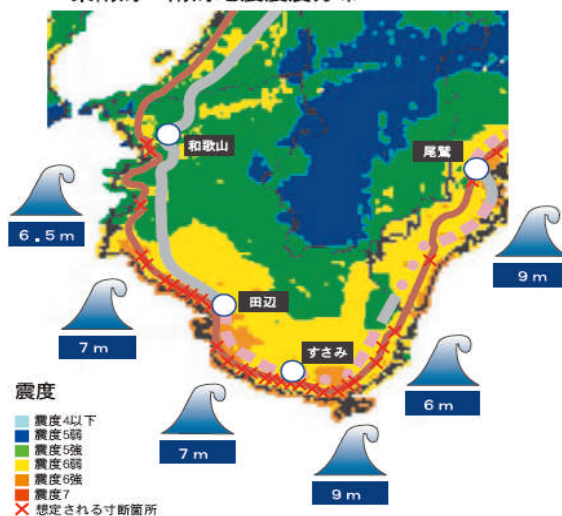
東南海地震

今後30年以内の発生確率60～70%

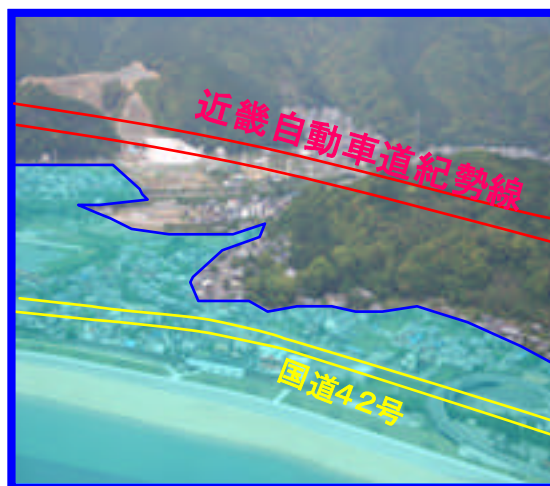


台風でも越波する国道42号

東南海・南海地震震度分布



国道42号の津波冠水イメージ



～災害時のリダンダンシーの確保～

【現状】

- 今後30年以内に50～70%の確率で東南海・南海地震が発生
 - 通行止めになった場合の迂回路は山間部の道路であり大型車の通行は不能。
 - 台風による紀南地方での越波通行止め回数は、過去5年間で21回、123時間。
 - 国道42号が浸水すると、支援物資の輸送等が困難。
- 【高速道路の果たす役割】〈代替路・避難路の形成、救急活動の支援〉
- 津波被害などにより寸断される国道42号の代替路となり、救急・救済活動の支えとなる。

津波浸水域となる海岸沿いを避けた山側を通行。

